

# 強度試験依頼書インストール手順

## 1. はじめに

このプログラムは Windows が動作する PC でのみ使用することができます。

スマートフォン等の携帯端末（Android、iOS）では動作しませんのでご注意ください。

## 2. インストール

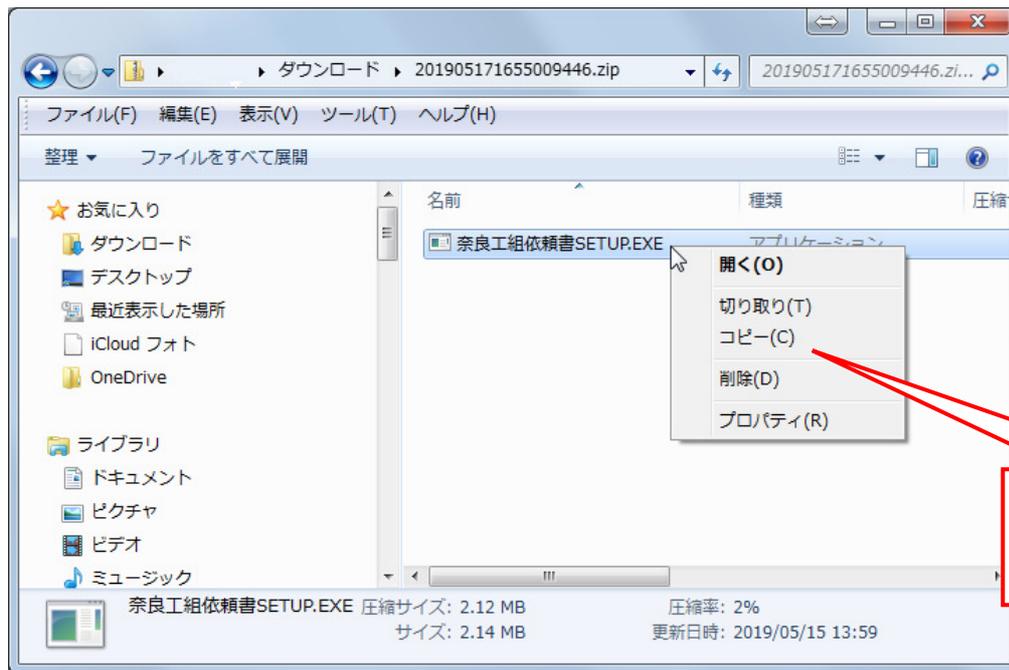
1) 「コンクリート強度試験依頼書」をクリックすると画面下のようなメッセージが表示されますので、[保存] ボタン右の三角から [名前を付けて保存] を選び、デスクトップ等わかりやすいフォルダに保存してください。

(インターネットエクスプローラーを使用した場合)



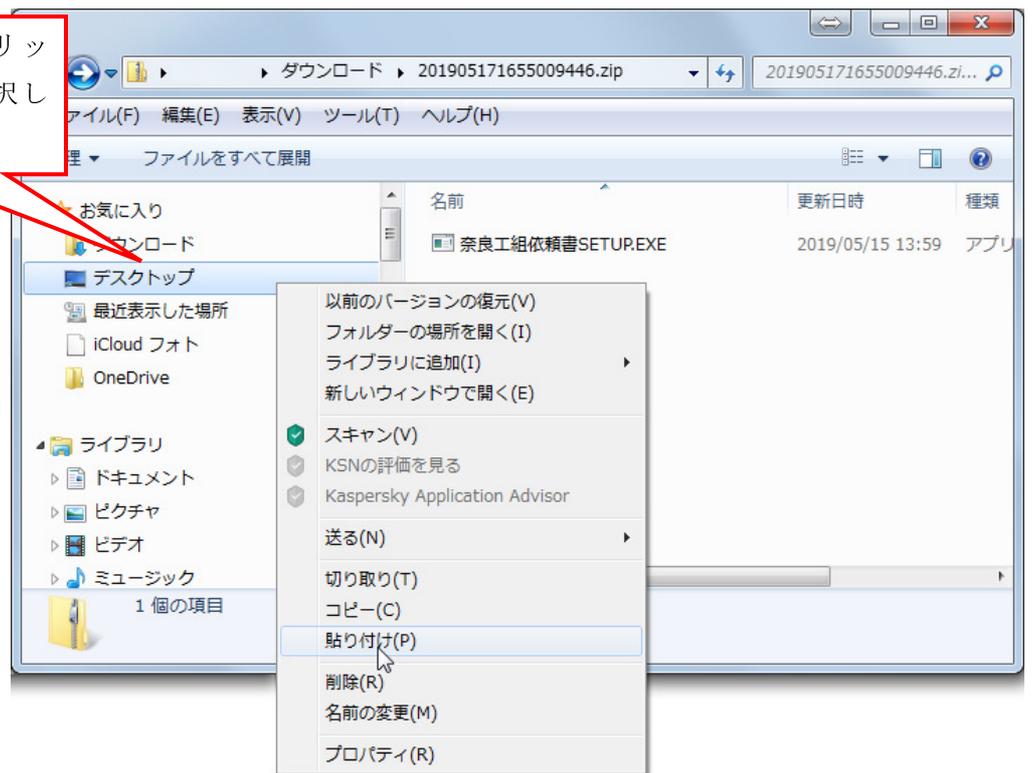
※お使いのブラウザや、ウイルス対策ソフトの状況により、保存時に「安全なファイルではありません」等メッセージが表示されることがありますが、そのまま保存処理を続行してください。

2) 保存したファイルを開き、「奈良工組依頼書 SETUP.EXE」をコピーし、デスクトップに貼り付けます。



ファイルを右クリックして「コピー」を選択します。

デスクトップを右クリックして「貼り付け」を選択します。



デスクトップに「奈良工組依頼書 SETUP.EXE」が貼り付けました。

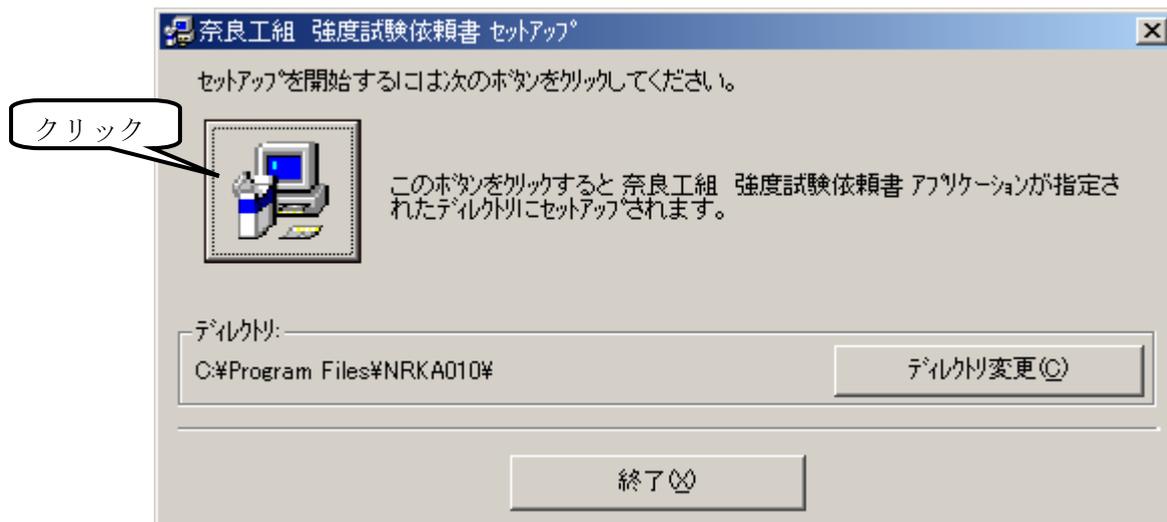
3) 「奈良工組依頼書 SETUP.EXE」を右クリックして、「管理者として実行」を選択します。



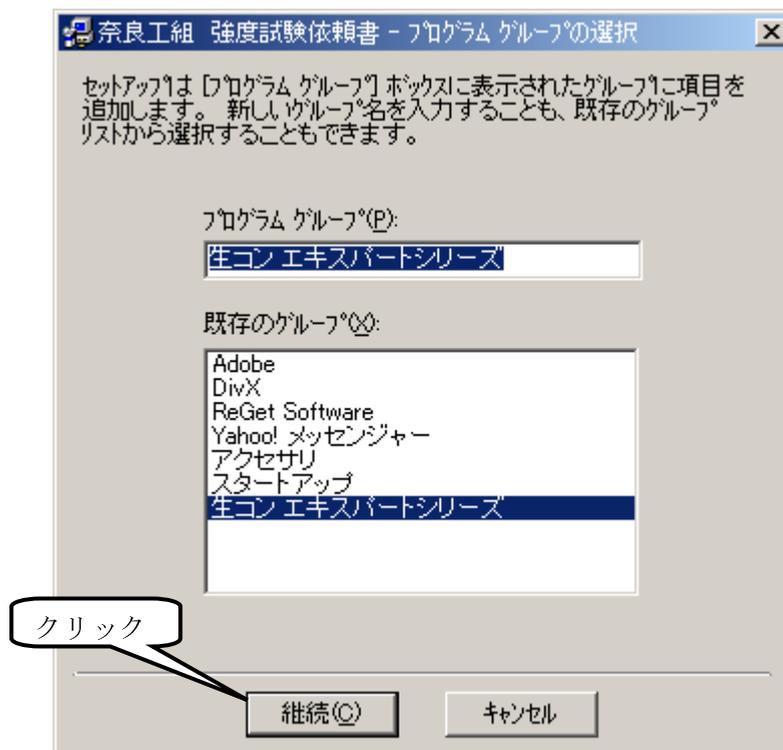
4) 次のような画面が表示されますので、[OK]をクリックします。



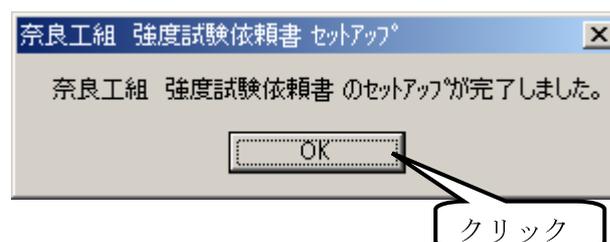
5) 「パソコン」のボタンをクリックしてください。



6) 「継続」をクリック。



7) 「OK」をクリック。

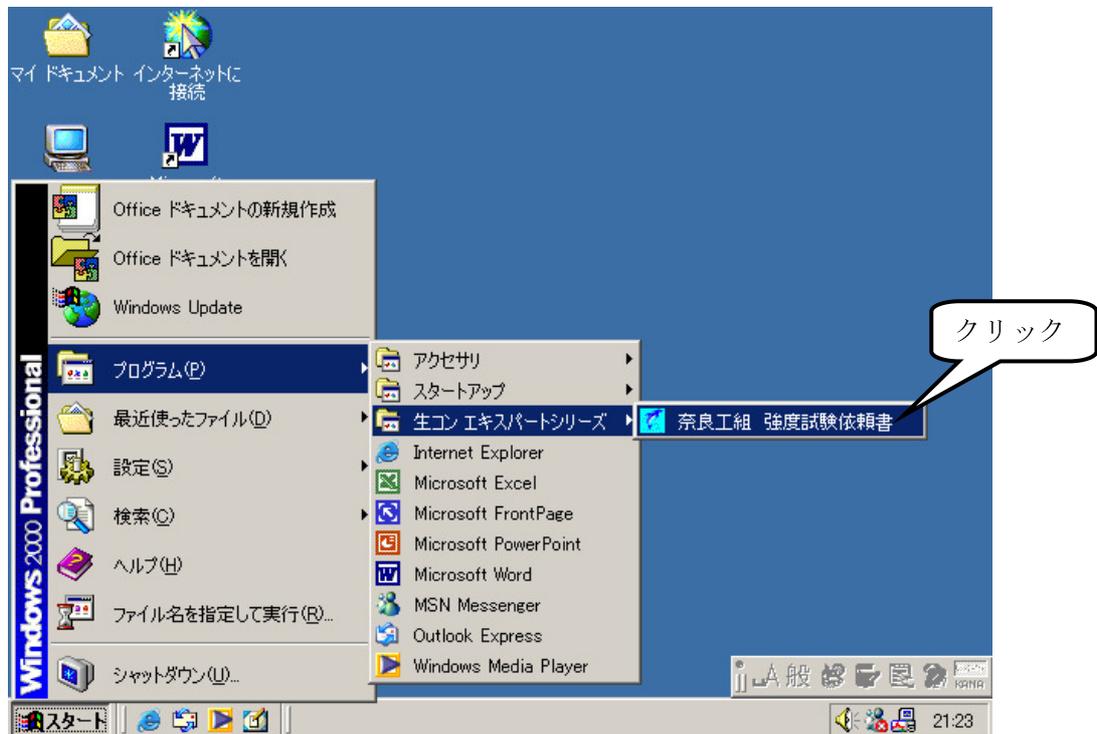


以上で、インストール完了です。

# 操作手順

## 1. 起動方法

「スタートボタン」→「プログラム」→「生コンエキスパートシリーズ」→「奈良県工組 強度試験 依頼書」をクリックするとデータ入力ウィンドウが表示されます。



The application window titled '奈良生コン工組 - コンクリート強度試験依頼書' (Nara Precast Concrete Expert Series - Concrete Strength Test Request Form). The window contains various input fields and controls for test data entry.

試験項目:  圧縮  曲げ  引張 書類No.: 999 - [ ] 次の連番を表示

依頼会社: [ ]  
所在地: [ ]  
工事名: [ ]  
施工者: [ ]  
製造会社: 株式会社ウィッティシステム

試験目的:  1. 構造体コンクリート強度検査  2. 受入検査  3. ( [ ] )

強度管理材齢: [ ] 日 設計基準強度: [ ] N/mm<sup>2</sup>

打込年月日: [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日 材齢: [ ] 日 試験年月日: [ ] 年 [ ] 月 [ ] 日

コンクリートの種類および記号: [ ]

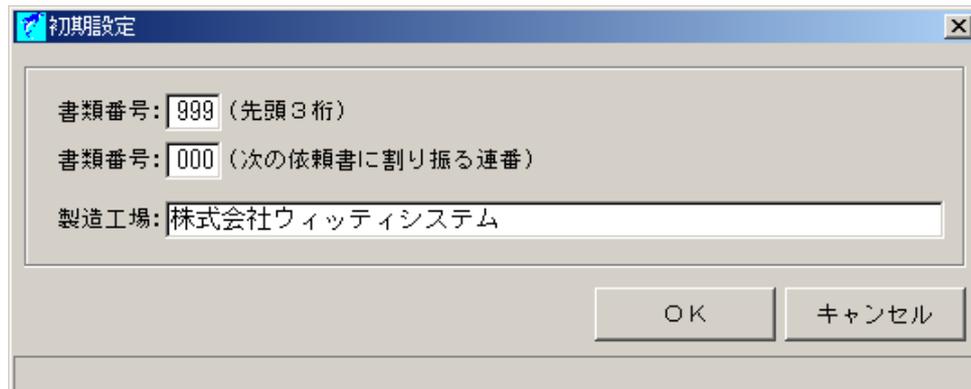
区分	打込箇所	養生符号	数量(本)	A: 標準水中 D: 現場水中 B: 現場封蔵 E: 現場空中 C: 室内空中 F: ( [ ] )
I				
II				
その他				

発注者区分: (空白)

NUM CAPS かな 2002/02/14

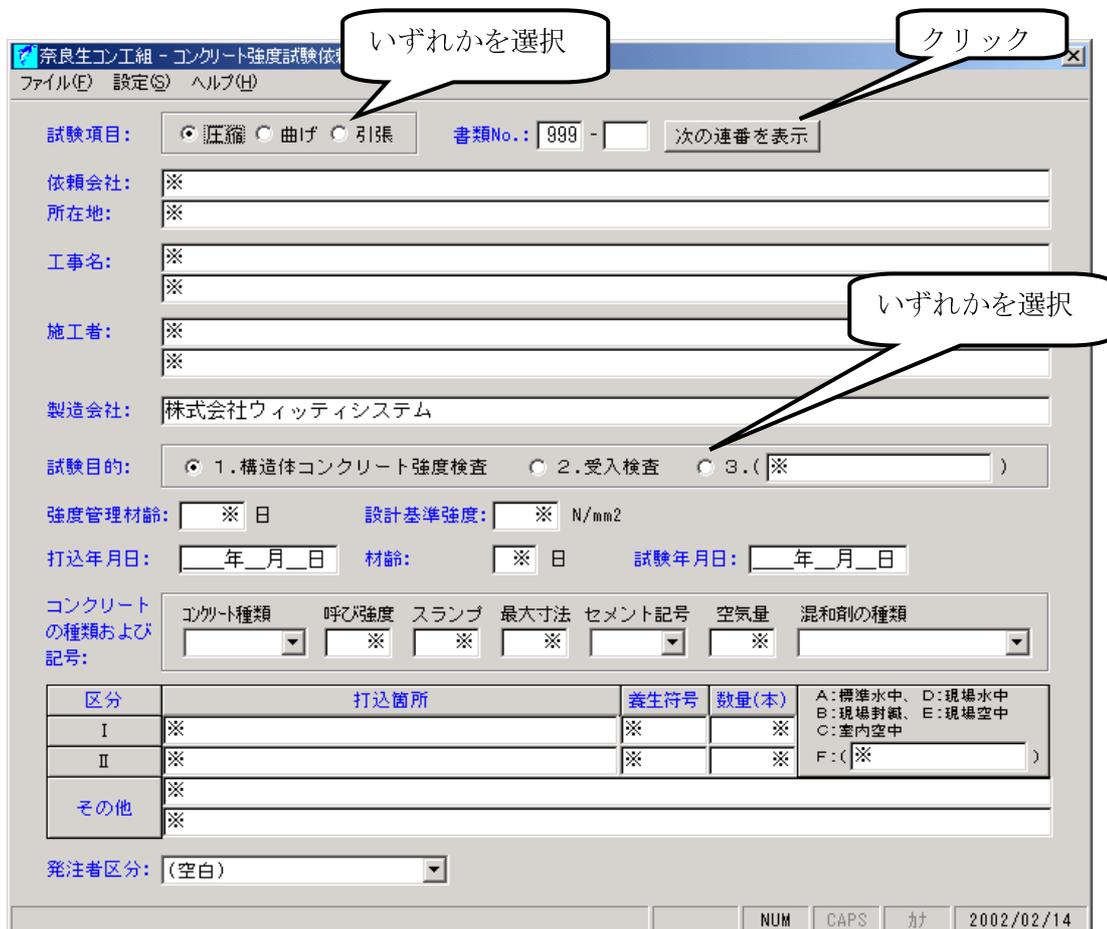
## 2. 初期設定

「設定」 → 「初期設定」 をクリックすると、下記の初期設定入力画面が表示されます。



- 書類番号 (先頭3文字)  
奈良工組より割り振られている工場番号を入力します。
- 書類番号 (次の依頼書に割り振る連番)  
依頼書に割り振る連番を入力します。
- 製造工場  
会社名・工場名を入力します。

## 3. データ入力



試験項目:  圧縮  曲げ  引張 書類No.: 999 -  次の連番を表示

依頼会社: ※   
所在地: ※   
工事名: ※   
施工者: ※   
製造会社: 株式会社ウィッティシステム

試験目的:  1. 構造物コンクリート強度検査  2. 受入検査  3. (※ )

強度管理材齢: ※ 日 設計基準強度: ※ N/mm<sup>2</sup>  
打込年月日: 年 月 日 材齢: ※ 日 試験年月日: 年 月 日

コンクリートの種類および記号:  呼び強度  スランブ  最大寸法  セメント記号  空気量  混和剤の種類

区分	打込箇所	養生符号	数量(本)	
I	※ <input type="text"/>	※ <input type="text"/>	※ <input type="text"/>	A: 標準水中、D: 現場水中
II	※ <input type="text"/>	※ <input type="text"/>	※ <input type="text"/>	B: 現場封緘、E: 現場空中
その他	※ <input type="text"/>	※ <input type="text"/>	※ <input type="text"/>	C: 室内空中
				F: (※ <input type="text"/> )

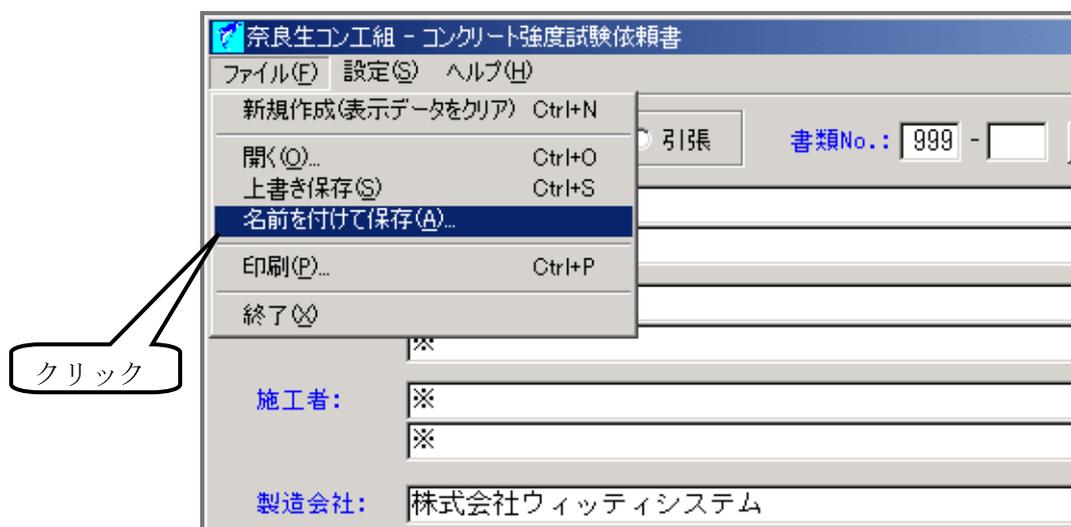
発注者区分: (空白)

NUM CAPS 加 2002/02/14

- 入力項目については、すべてワープロ形式による入力となっております。入力されなかった項目については、印刷時に棒線を引くようになっておりますので、“-”などを使って、あらかじめ消しておく必要はありません。
- 工事名、施工者については、2行印刷出来るようになっております。共同企業体などの長い施工者名の場合は、2行目に振り分けて入力すると依頼書も2行で印刷されます。
- コンクリート種類、セメント記号、混和剤の種類については、右側の▼マークをクリックすることにより、表示されたリストの中から選択して入力する事が出来ます。リスト内に表示される内容は修正できませんので、選択できない場合は直接入力してください。
- 打込年月日、試験年月日については、西暦形式で入力してください。  
例：「**2019年6月1日**」を入力する場合 ⇒ **20190601** と続けて入力します。
- また、 を入力することにより表示されたカレンダーを、マウスでクリックして入力する事も出来ます。
- 打込年月日及び材齢を入力すると、試験年月日は自動的に入力されます。
- 今回の依頼書では、書類 No.は、「工場番号(3桁) + 「依頼書の連番(3桁)」の形式となっており、「依頼書の連番」は、 ボタンをクリックする事で、次の連番が表示されます。

## 4. ファイルの保存

入力したデータを、USBメモリーやハードディスクに保存する場合、「ファイル」→「上書き保存」もしくは「名前を付けて保存」をクリックします。



### 1) 名前を付けて保存の場合



「保存する場所」を選択し、ファイル名を入力後、**保存(S)** ボタンをクリックします。

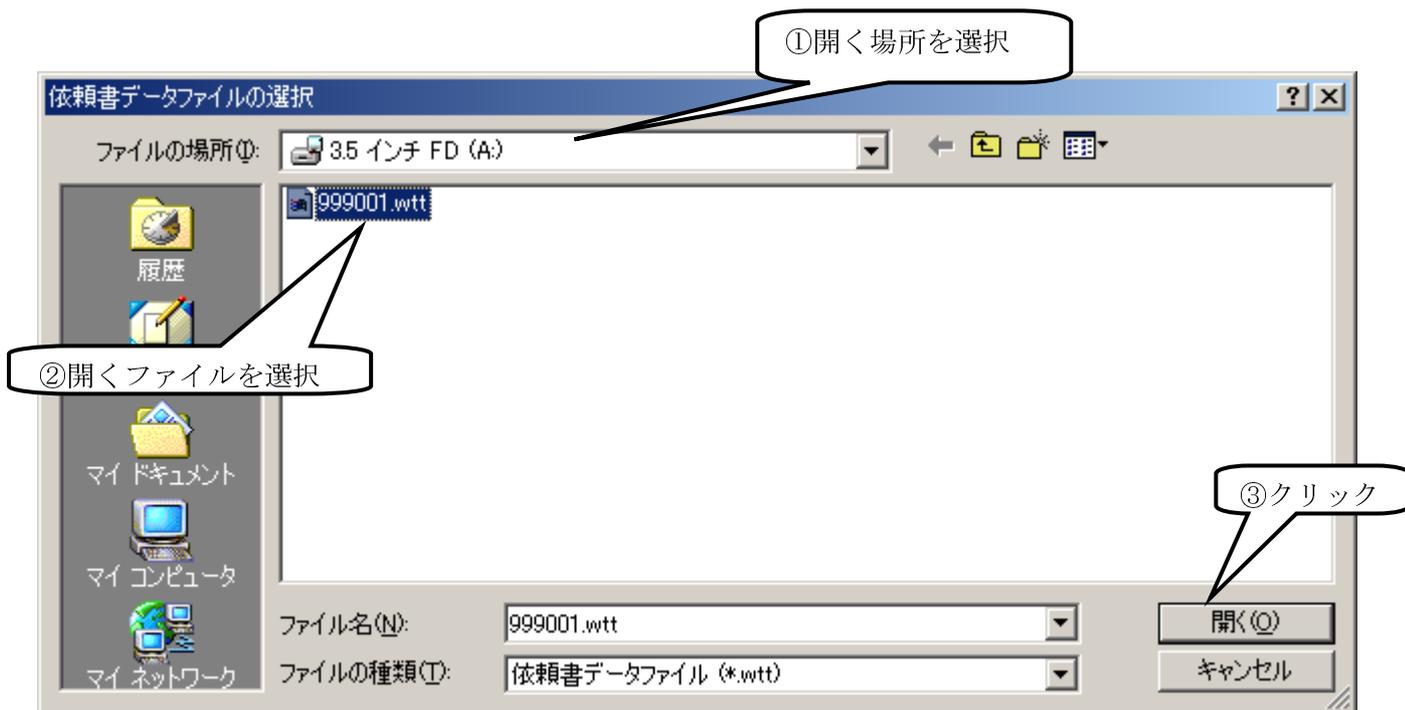
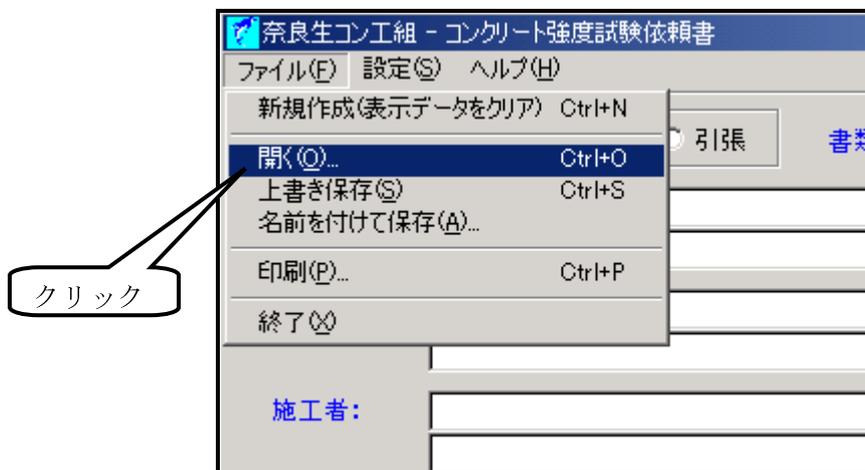
**※ 初めは書類番号が自動的にファイル名として表示されますが、わかり易い名前に変更して頂いても結構です。**

### 2) 上書き保存の場合

既に開かれたファイルがある場合は、同じファイルに上書きされます。まだファイルが開かれていない場合は、「名前を付けて保存」の場合と同じ手順で保存します。

## 5. 保存されたファイルを開く

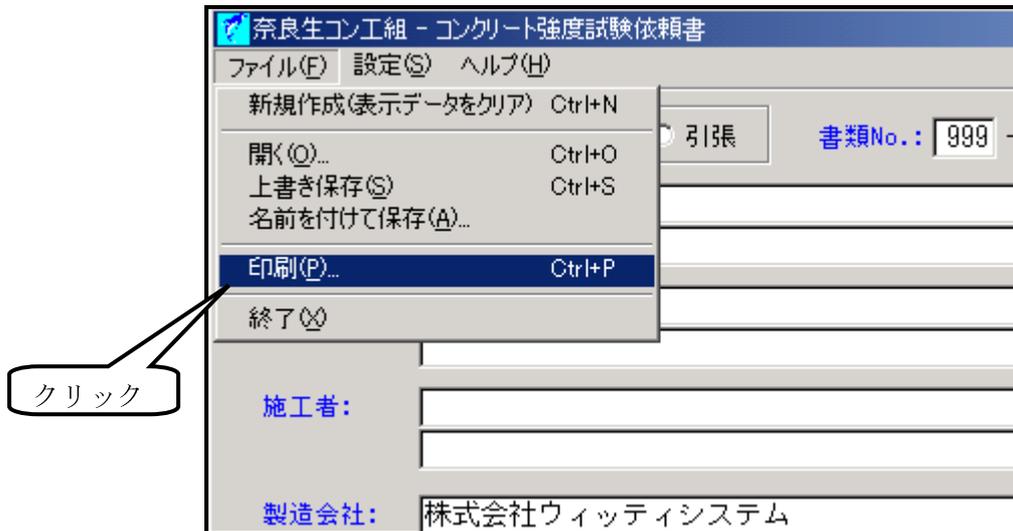
USBメモリーやハードディスクに保存したデータを表示する場合、「ファイル」→「開く」をクリックします。



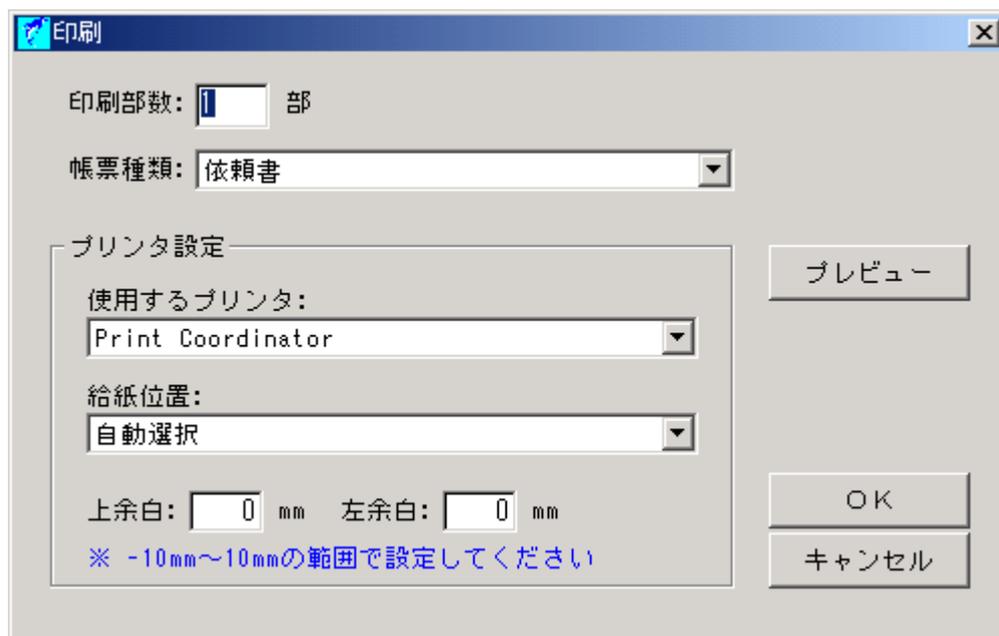
保存されているデータを選択後、**開く(O)** ボタンをクリックすると、入力画面上にデータが表示されます。

## 6. 依頼書の印刷

強度試験依頼書を印刷する場合、「ファイル」→「印刷」をクリックします。



印刷ウインドウが表示されますので、印刷部数等を入力後、OKボタンをクリックすると、印刷されます。



- 印刷部数 . . . . . 一度に印刷する帳票の部数を入力します。
- 帳票種類 . . . . . 通常、「依頼書」を選択します。
- 使用するプリンタ . . . . . 実際に印刷で使用するプリンタを選択します。
- 給紙位置 . . . . . 選択したプリンタの、どの位置から給紙するかを選択します。
- 上余白、左余白 . . . . . 通常、上余白、左余白とも、0を入力しておいて下さい。

以上